

北中城村公共下水道事業経営戦略【概要版】

1. はじめに

■計画策定の趣旨

本村における下水道事業は、平成 9 年度に供用開始して以来、村民の皆様の暮らしを支える重要な役割を担っています。今後も村民の皆様の暮らしを支えるために、下水道事業を持続的・安定的に経営していくことが重要です。このため、持続可能な下水道事業の実現に向けて、今後の経営指針を示すものとして、「北中城村公共下水道事業経営戦略」を策定しました。

■位置づけ

本計画は、平成 26 年 8 月 29 日付の総務省通知「公営企業の経営に当たっての留意事項について」における経営戦略の策定要請を踏まえ、「北中城村第四次総合計画」に基づき、下水道事業における経営指針として取りまとめた計画です。

■計画期間

計画期間は平成 31 年度から平成 40 年度までの 10 年間とします。

2. 公共下水道事業の現状と主な課題

■人口普及率について

本村の下水道の人口普及率は 61.1%（平成 29 年度）となっています。新規整備に伴い人口普及率は年々増加していますが、今後も未普及地域の解消が課題となっています。

■接続率について

接続率とは、下水道を利用できる区域内人口のうち、実際に水洗便所を設置している人口の割合です。本村における接続率は、年々上昇傾向にありますが、平成 28 年度時点で 59.0%であり、類似団体平均値（84.1%）と比較しても低い水準にあり、接続率の向上が課題となっています。

■経費回収率について

経費回収率とは、使用料で回収すべき経費が使用料でどの程度賄えているかを示す指標です。本村における経費回収率は、平成 28 年度時点で 56.5%であり、不足分を一般会計繰入金で補っている状況です。類似団体平均値（74.0%）と比較しても低い水準にあり、経費回収率の向上が課題となっています。

3. 経営の基本方針

基本方針 1：計画的な下水道整備・更新の推進

①下水道整備の推進

未普及地域の解消に向け、計画的な整備を推進します。

②ストックマネジメント計画に基づく改築更新

計画的な点検調査及び長寿命化を含めた改築更新を進め、投資の平準化を図っていきます。

基本方針 2：経営状況の見える化

①公営企業会計への移行

平成 32 年 4 月 1 日より会計方式を官庁会計方式から公営企業会計方式へ移行し、経営状況・財政状態の見える化を図り、より一層、経営の効率化・健全化に努めます。

②企業債残高の管理

将来を担う世代に過大な負担を残さないよう、企業債残高の管理に努めます。

基本方針 3：経営基盤の強化

①接続率の向上

戸別訪問や、自治会と連携した啓発活動に関する検討等を行う等接続率の向上を図ります。

②事務の共同化に向けた検討

近隣団体と事務の共同処理について、国や近隣団体の動向を踏まえた上で適宜検討していきます。

③適正な使用料設定に向けた検討

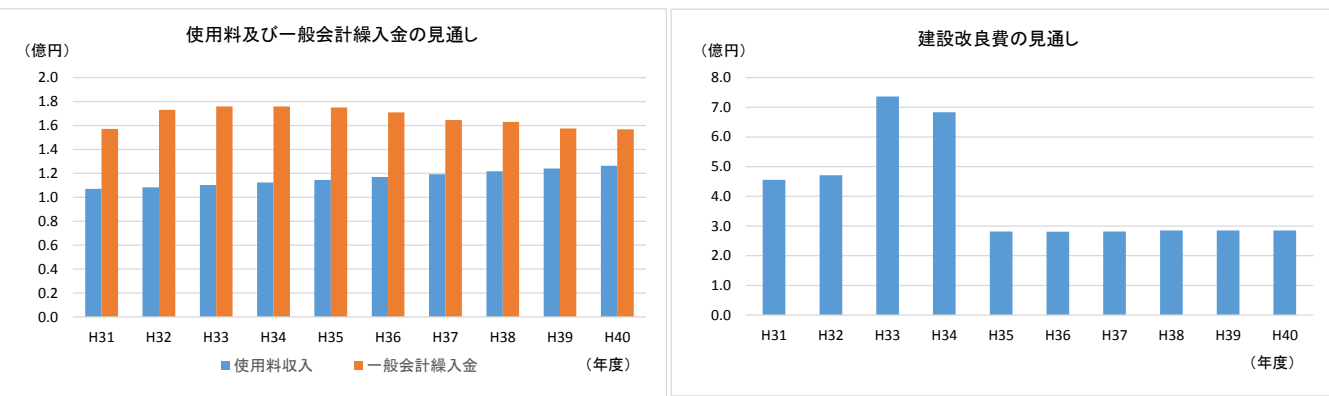
接続率の向上や維持管理の効率化に努めた上で、適正な使用料設定に向けて使用料改定の必要性に関する検討等を進めます。

4. 投資・財政計画

平成 31 年度から平成 40 年度までの投資・財政計画の主な財源及び建設改良費の見通しを示します。

主な財源である使用料収入は、新規整備や接続率改善により微増する見込みです。一般会計繰入金は現状と同程度の繰入額を見込んでいます。

建設改良費は、汚水事業に関する新規整備と雨水事業に関する調整池の整備等を見込んでいます。



5. 経営戦略の進行管理

経営目標を設定し、毎年度進捗を確認し、必要に応じて取組み内容の検証、見直しを行います。また、5 年経過を目安として、投資・財政計画との乖離等について中間検証し、必要に応じて見直しを行います。